



最上エコボリスの実現
=豊かな自然 輝くもがみ=

小国川だより

最上小国川治水対策について、お知らせします。

小さなダム・大きな仕事 最上小国川ダム

第12号

平成21年7月22日発行

山形県 最上総合支庁
建設部 河川砂防課

最上小国川の環境を守るため、最大限環境に配慮した対策を行います



「保養センターもがみ」の屋上から最上小国川の上流側を見た景色

5月26日(火)に開催した第3回最上小国川流域環境保全協議会のくわしい内容について、ご報告いたします。

クマタカや藻類、昆虫類などについて、さまざまなご意見ご指導をいただきました。

当日は、現地調査も行いました。左の写真は、その時に撮影したものです。

向町方面全体が見渡せ、とても素晴らしい景色でした。

ヒメギフチョウの調査では、どんなことが分かったのか

第2回環境保全協議会での指導に基づき、ヒメギフチョウの調査を実施しました。

ヒメギフチョウの幼虫は、ウスバサイシンという植物の葉を食べます。成虫はカタクリの花の蜜を吸い、ウスバサイシンの葉に卵を産み付けます。

おもに、この二つが揃った場所で生息できます。これまでの調査で、ウスバサイシンが自生していることが分かったため、専門家から羽化する前の時期の調査を指導されました。

カタクリ



ウスバサイシン(葉)



ウスバサイシン(花)



ヒメギフチョウ

今年の4月23日～25日、5月2日の4日間、現地を調査したところ、ウスバサイシンは5カ所、カタクリは9カ所で見つかりました。

その中の3カ所では、同じ場所に両方とも見つかりましたが、ヒメギフチョウの卵は見つかりませんでした。

これからも、ヒメギフチョウに注意しながら、環境調査をしていきます。

(注) ヒメギフチョウは見つかりませんでしたので、他で撮影された写真を、ご紹介します。

第3回環境保全協議会では、どんなご意見をいただいたのか

第3回最上小国川流域環境保全協議会では、次のようなご意見ご指導をいただきました。

クマタカは事業地に近いペアに注意が必要である。巢外育雛期に林内踏査を行うと良い。巢立ちは7月末から8月半ばくらいなので、8月末に巢外育雛期の林内踏査が必要である。
(事務局：ご意見を参考に調査時期を追加したい)

今後の予定では第5回環境保全協議会で環境影響検討結果報告「既往検討結果の見直し」とあるが、ダムによる影響を把握するため、どういつ方針で進めていくかが大切である。第5回以降も濁水・モニタリングしながら見ていってもらいたい。
(事務局：今年の調査結果を元に、ご意見をいただき、検討していきたい)

藻類調査については、基本的な調査項目としてはよい。時期としては藻類が増える5月に定期調査がほしいが、可能であればお願いしたい。
(事務局：今年は時期が過ぎたので来年度対応でできるか検討していきたい)

ヒメギフチョウの調査は、十分な調査をしたと認められる。結果として成虫は確認できなかったがウスバサイシンとカタクリの生息が可能な環境は確認できた。将来、飛来して卵を生んで生息する可能性がある。ただ、今回のような渓谷地より里山環境が適している。杉林の中の日が差すところが良いが、管理されず暗くなった杉林地には少ない。

【第2回環境保全協議会から】

最上町富澤地内で撮影



クマタカ

第2回環境保全協議会では、猛禽類について次のようなご指導をいただいています。

11種類の猛禽類のうちダム事業による環境影響対象として注目するのは、クマタカ・オオタカ・ハイタカ・ハチクマ・サシバの5種類でよい。他の種は、渡りまたは一時的な生息の確認と考えられる。

オオタカ・ハイタカ・ハチクマ・サシバは営巣実績があるが、近年確認されていないこと、営巣場所が遠いこと等から影響は小さいと考えられる。今後、ダム事業による影響を検討するため、クマタカを重点的に調査する必要がある。



最上町富澤地内で撮影

現地調査の状況

【現地調査ルート】

ダムサイト
赤倉温泉
保養センターもがみ
白山橋
舟形町一の関～
十二河原付近
富長橋



ダム予定地

あちらに、高さ10mの砂防ダムが見えますが、ダムの予定地はそこから約100m下流のこの位置になります。

ダムの高さは41mですが、ダム予定地は、深さ約40mの谷になっています。

ダムは、皆さんが立っている場所から上に出るのではなく、深い谷にスポッとまる形で下にできます。



赤倉温泉

赤倉温泉では、河床からお湯が湧き出ていることを確認しました。水位を下げただけで温泉に影響が出たことを説明しました。

専門家の方に、川の状況や藻が生えている状況を確認していただきました。



富長橋

委員の方々から、多くの貴重なご意見ご提案をいただきました。今後さらに調査・検討を重ね、最上小国川流域の環境を守るための方策を実施していきます。

発行：山形県 最上総合支庁 建設部 河川砂防課
最上小国川ダム建設室 佐藤・高橋
〒996-0002

山形県 新庄市 金沢 大道上 2034

お問合せ先 電話 0233-29-1407

Email - 【前画面を参考にしてください。】

バックナンバーは県HPからダウンロードできます。アドレスは下記のとおりです。

http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami_bo/news/news/7314074ogunigawa_news.html